



「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の推進

なくそう犯罪 通信

平成 27 年 3 月 号

発行・編集

広島県警察本部

安全安心推進課

〒730-8507

広島市中区基町1-4

TEL 082(228)0110

FAX 082(222)7902

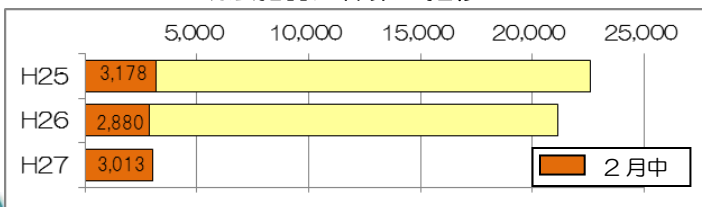


広島県内の犯罪の発生状況

■ 主な刑法犯の手口別認知状況（2月末）

区 分	H27.2	H26.2	前 年 比	
			増減数	増減率
刑法犯総数	3,013	2,880	133	4.6%
自転車盗難	569	583	-14	-2.4%
万 引 き	496	443	53	12.0%
器 物 損 壊	371	451	-80	-17.7%

刑法犯認知件数の推移



■ 特殊詐欺被害状況（2月末・暫定値）

区 分	認知件数		被 害 額	
	前年比		前 年 比	
特殊詐欺	74	+3	約 2 億 9,776 万円	+約 4,994 万円

※ 特殊詐欺～振り込み詐欺や金融商品等取引名目詐欺など、被害者に電話を架けるなどして現金をだまし取る犯罪の総称

Point

電話の相手は、本人ですか？

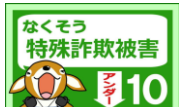
特殊詐欺に関する多くの被害や家族や警察官などを騙る犯人からの電話が管内各地で確認されています。被害に遭ったケースでは、息子を騙る犯人に対して本人であることを十分に確認することなく、「息子だと思い込んでいた」などという事例が多くみられています。まずは、本人しか知らないことを聞いてみるなどして「電話の相手が本人なのか？」を十分に確認することが重要です。

減らそう犯罪 トピックス

★ 特殊詐欺被害防止キャンペーンを実施

2月26日、JR 広島駅南口において、防犯CSR活動に取り組まれている事業者の皆さんとの合同による街頭キャンペーンを行いました。

キャンペーンでは、駅利用者の皆さんにチラシなどを配布して、「なくそう特殊詐欺被害・アンダー10作戦」等による特殊詐欺被害防止を呼びかけました。



★ 高齢者・児童及び障がい者の安全・安心を守るための協力に関する協定を締結

福山市内3署は、2月18日、民生・児童委員が関わる「高齢者・児童・障がい者」の安全・安心を守ることを目的に、福山市連合民生・児童委員協議会との間で

- 迷い子、負傷者、徘徊高齢者の保護と安否確認
- 事件・事故や不審者に関する情報提供
- 防犯・交通安全に関する広報啓発活動
- その他、地域の安全・安心に関する活動

などについて相互に連携・協力することを内容とする協定を締結しました。



★ 県政世論調査の結果まとまる

広島県が県民の皆さんを対象として実施した平成26年度県政世論調査の集計結果が公表されました。

本調査では『「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の推進』に関する設問も盛り込まれました。

※ 裏面に集計結果（「減らそう犯罪」関係抜粋分）を掲載

もっと教えて!!

犯罪情報官



ひったくり被害に注意!!!

夜間に一人で帰宅する女性を狙ったひったくり被害が増加しています。

ひったくりは大切な財産を奪われるだけでなく、被害の際に転倒してケガを負うなどの身体的な被害を受けることもあります。

真冬の寒さも和らぎ、明るい時間も長くなってきましたが、特に夜間に一人で帰宅する際などには、周囲を警戒するなど被害防止に十分注意しましょう。

ここに注意!!

- ◎ 道路側に鞆を持たない・ひったくり防止ネットの活用など、被害防止に配慮しましょう!
- ◎ 歩きながらのスマホ操作はやめましょう!

頑張れ!

まちの防犯ボランティア



社会福祉協議会の配膳チラシに「安全・安心チェック」を掲載して注意喚起（広島市安佐北区）

安佐北署管内では、地域の社会福祉協議会に所属しながら活動する地域安全推進指導員さんにより、同協議会が高齢者に配布する配膳チラシに「安全・安心チェック」が掲載され、このチラシを活用した各訪問先での犯罪被害防止の注意喚起が行われています。

チラシには、「家にいるときでも、玄関に鍵を掛けている」「防犯のことについて、家族や近所の人と話をしている」など、8つのチェック項目が分かりやすく掲載されています。

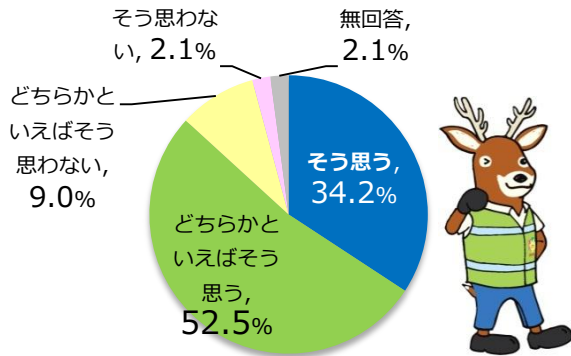


平成26年度 県政世論調査

～「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動関連の調査結果を抜粋～

調査対象 広島県内在住の満20歳以上の県民
標本数 2,000人を無作為抽出
調査時期 H26.10.31～H26.12.8
有効回答数 1,200 (60.0%)

問1 現在、お住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



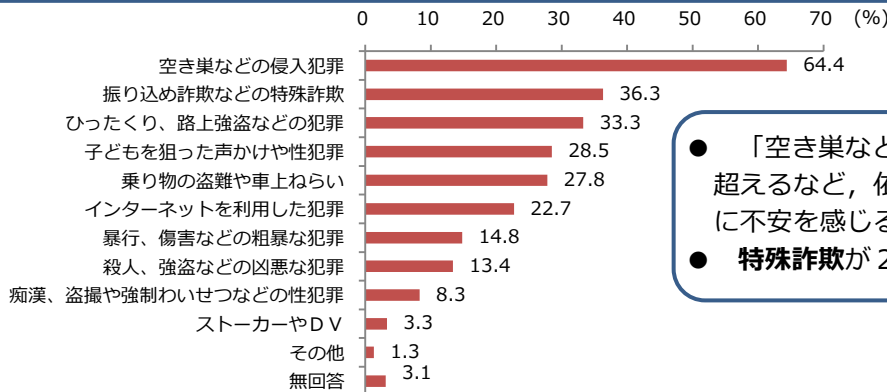
治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思う人が**8割超**

参考 治安に関する特別世論調査（H24 内閣府実施）

Q 現在の日本が治安が良く、安全で安心して暮らせる国だと思いますか。

- 1 そう思う (14.7%)
- 2 どちらかといえばそう思う (45.0%)
- 3 どちらかといえばそう思わない (25.4%)
- 4 そう思わない (14.0%)

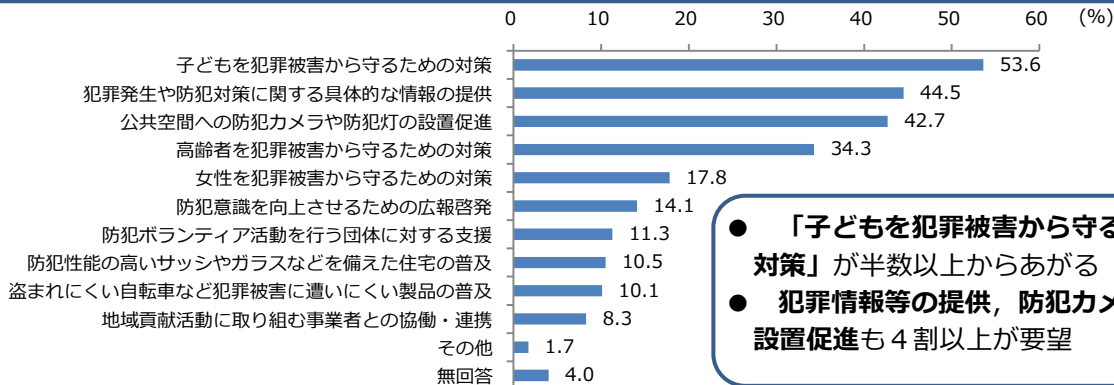
問2 日常生活で自分自身や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安に感じている犯罪は何ですか。（3つ以内選択）



- 「空き巣などの侵入犯罪」が6割を超えるなど、依然として「**身近な犯罪**」に不安を感じる県民が多い
- **特殊詐欺**が2位にランクイン



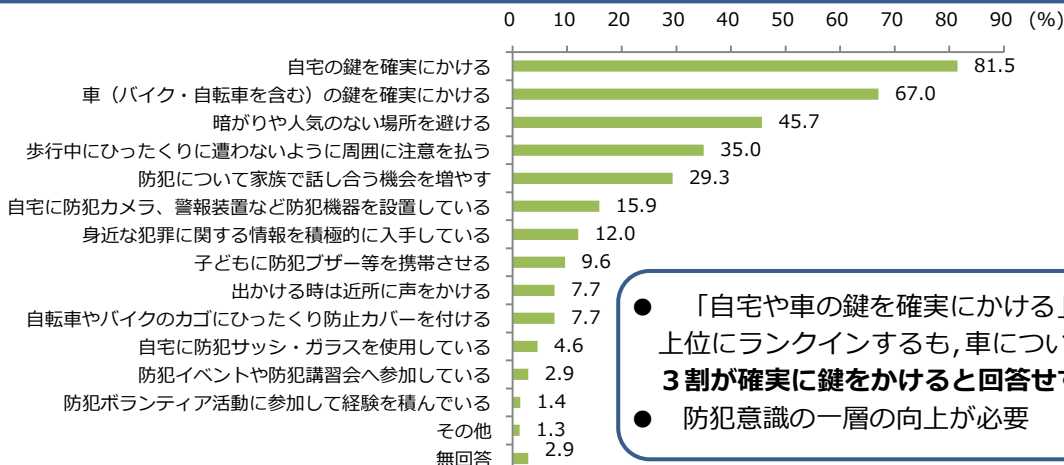
問3 安全・安心な生活を送るために、犯罪の取締り以外に重点的に取り組んで欲しい施策は何ですか。（3つ以内選択）



- 「子どもを犯罪被害から守るための対策」が半数以上からあがる
- 犯罪情報等の提供、防犯カメラ等の設置促進も4割以上が要望



問4 ここ最近、犯罪被害に遭わないためにどのようなことに気をつけていますか。（あてはまるもの全て選択）



- 「自宅や車の鍵を確実にかける」が上位にランクインするも、車については**3割が確実に鍵をかけると回答せず**
- 防犯意識の一層の向上が必要

